



発行 真言宗豊山派 霊松山歎喜院
金剛寺

〒371-0241 前橋市苗ヶ島町 1147
TEL 027(283)6918 FAX 027(283)6815
http://www.raijin.com/kongouji/

「自己実現」

ハレークリシユナ仁田 愛 (情野 俊一)



私が志田先生に初めてお会いしたのは、今から約二十年前になります。私は仏教寺院を車で移動しながら、聖典バガバトギーターを紹介していました。そんな時、金剛寺の志田先生に御会いしました。その時の師の真摯な対応、真実を率直に伝える勇氣、そして現代社会の様々な問題を解決されようと、その行動力を充分にお使いになって実行されておられることに大変感銘をうけました。

さて、私は貢献奉仕（バクテイ）を学ぶ学生です。私の祖父は山形県鶴岡市大山でその当時仏教の教えを町に伝える為に、山中に御堂を建てました。今でもそのまま残っています。その祖父の事もあって、小供の頃から、世の在り方や、人の生きる意味について大変興味を持っていました。また経済発展や物質的満足によってのみ生活を送ることの無意味さ、虚しさを感じていました。全ては移り変わってしまう…ですから人生には何か崇高な目的があって、それを達成する為に生きるべきだ。と考えました。その

ニッタイ

後高校の修学旅行時でした。旅の最後の日に京都の寺院内で一人の若い僧が、力強く「人生のあるべき姿」を説教して下さったのです。私は「これだ！」と思い、私もこんなスピーチ出来る人になりたい。と思いました。その後就職し、スタンド割烹店、その後精進料理店で働き、二十七歳になりヴェエダを教える師との出会いがありました。きっかけを作ってくれた若い僧は、私と同年だったこともあってとても親しみを感じました。そして小さな冊子を受け取り、誘われた通り次の週の「日曜祭」に参加することにしました。その小さな三階建のヴェエダ寺院は、細長く特徴のある建物でした。三階まで登っていくと、その僧が寺院の説明をしてくれました。そして聖木崇拜をし、いよいよ先生の英語でのスピーチが始まりました。年上の僧が通訳してくれました。その時の真剣な利他の話、純粹な信仰心、熱意、崇高な知識に、魂から引かれていました。これこそ私の求めていたもの、生活そのものが信仰心であるすばらしさ、そして私の人生は、ガラリと変わり、半年後にその寺院に入信し、インドへ行きました。

私が学んだ教えの要点は以下の通りです。

一、我々の真我の本質とバガヴァーン（絶対真理）との関係性を知ること

二、その方法（自己現実）

三、人生のゴールを知ること

ある人に、あなたは誰ですか と聞けば、すぐに、はい！私は鈴木です。日本人です。高校出身です。男です。女です。と普通に答えるでしょう。これは一時的な事実で、永遠なる、ほんとうの「わたし」とは無関係です。では永遠なる自己とは一体何者なのでしょう？その正体は、意識です。知覚する母体です。

そして、その意識を使って変化し続ける心や感情を観察することで、心や感覚に惑わされなくなります。そうでなければ、常に変化し続ける心や体の変化を、真の自己と同一視して振り回され、乱され、その結果不安に心が支配されてしま、人生の目的が単に不安解消の為に自分を優位に立たせようとする競争になってしまうかも知れません。そのような一時的なものが「自分の本性だ」と、あやまって考えてしまったが為に世界中で生存競争がはびこり様々な問題が増えていきます。真の自我は不安とは無関係で永遠で喜ばしい存在です。その状態が魂本来の正常な状態です。

全啓示經典の結論はバガヴァーンと永遠に結ばれることと奉えることです。魂の永遠の性質は利他行することです。相手の為役立とうとすることが我々の本質です。その利他の究極の対象がバガヴァーン（絶対真理）です。この事実が宇宙の原理原則であり、どんな立場、どのような宗教を信仰されておられる方でも、実行できます。信じる、信じないという感情を超えて宇宙の原理は永遠に存在し続けるのです。

また、この事実を充分理解し、この実践的知識を他の人に授けられるアジャリとの出会いがぜひとも必要となります。そのようなアジャリ（見本教師）との接点の人々にもたらすようにさせていたいただくのが私の奉仕となっています。

以上

この文章を読んでくださった皆様、そして特に志田先生には大変感謝しております。ありがとうございます。

日本とスウェーデンのお葬式の違い

アンナ ヘッドバーク



二〇一四年三月、私は語学留学のためにスウェーデンから日本に来ました。日本での生活はスウェーデンの生活とは異なる点が多くあるため、新しい発見や経験をjする機会に恵まれてる。

今年の夏、残念なことです、夫の祖母が亡くなりました。そして、私には「日本のお葬式」という新しい経験が増えました。日本のお葬式はスウェーデンのお葬式と違う部分があり、非常に興味深い経験となりました。

スウェーデンでは人が亡くなつてから、一ヶ月後に葬儀を行うことも珍しくありません。私の祖父の場合は二ヶ月半後に行いました。昔は土葬が主流のために冬の凍った土への埋葬が難しいという理由があったようです。現在は、悲しいことですが、遺族や葬儀の参列者の予定を確保するのに時間が必要という理由の方が大きいようです。それに対して、日

本では人が亡くなってから一週間以内に行うことが一般的だということを知り、驚きました。夫の祖母の葬儀でも、短期間の知らせにも関わらず、遺族が予定を確保して参加したことに感動しました。

スウェーデンでは遺体は速やかに冷暗所に運ばれます。大抵の場合、冷暗所へ移動後に亡くなった人の姿を見ることはありません。私は、夫の祖母のお通夜で、遺体を人生で初めて見ました。夫を含め、親族全員が遺体の傍で平然としていたことに衝撃を受けました。そんな私でしたが、旅支度に参加しているうちに、徐々に慣れていきました。遺体を棺に移



し、夫の母が生前に使っていた杖と帽子を入れました。夫の母が泣きそうな震える声で、「お気に入りの使い慣れていた杖と帽子なの。これがあれば、おばあちゃん、きつと安心して旅立っていけると思うの。」と私に説明してくれました。涙が溢れそうになりました。いま思

い出しても、涙が出そうになります。お通夜の次の日、私は葬儀に参列しました。私は参列している方の服装が同じような服装であったことに気づきました。スウェーデンでは日本の喪服のように決まった服装というのはありません。控えめな色のスーツやドレスであれば問題ありません。葬儀によっては、遺族がドレスコードを決めます。日本では結婚式に男性は白ネクタイを着用する習慣があるのに驚くと思いますが、スウェーデンでは故人の親族の男性は白ネクタイを着用する習慣があります。

日本の葬儀は奥ゆかしく荘厳な印象を受けました。もともと印象に残った場面は、志田洋遠住職がお経をあげた場面です。言葉の意味は分からなかったのですが、ご住職様が発する一語一句が心に何か大切なことを問いかけるような印象を受けました。それと、生前に笑顔で挨拶してくれた夫の祖母の優しい顔が思い浮かびました。スウェーデンで行われた私の祖父の葬儀に関して、夫は「壮大なパフォーマンスを観ているようだった。日本の結婚式に似ている。」と言ってました。祖父の葬儀では、参列者全員で賛美歌を歌ったり、祖父の好きだった曲をプ

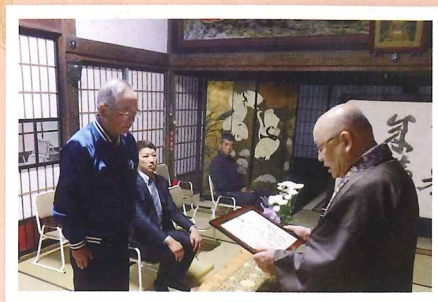
口の歌手とトランペット奏者が演奏したりしました。葬儀の後の昼食では、数名の代表者が故人との思い出を詩にして読んだり、思い出をスピーチしたりしました。この点が日本の結婚式のよう感じました。

最後に、大切な人が亡くなるのは大変辛い経験です。もう二度と話すことができない、もう二度と触れることができないと思うと、胸が張り裂けそうになります。だからこそ、大切な人と過ごすことができる限りある時間を少しでも楽しく幸せな時間にとしたいと思います。また、悲しい状況の中で支え合うことのできる家族や友人がいることに感謝します。日々の忙しい生活に追われ、故人との思い出にふけることを忘れがちですが、時々、そういった時間を作って、故人が私たちのために遺してくれた教訓や思い出に感謝したいと思います。

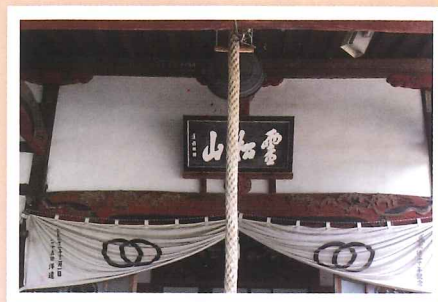


庫裏便り

感謝申し上げます



感謝状授与式 令和2年7月6日



鰐口紐麻網付

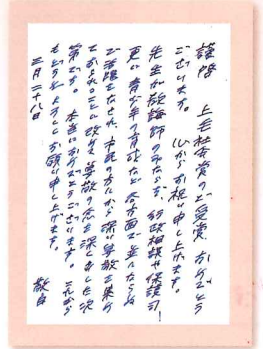


境内美化

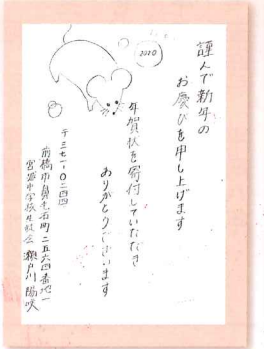


奉納 鰐口紐麻網付 石橋 俊行・教美 夫妻

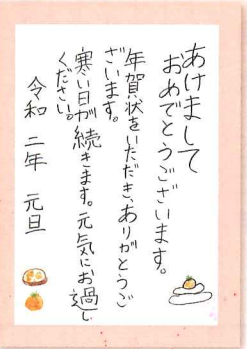
年賀状ありがとうございます。



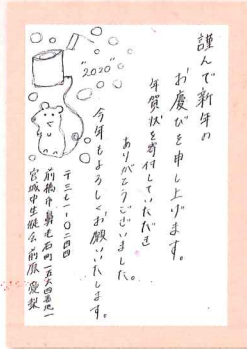
松岡 修様



前橋市立宮城中学校生徒会



前橋市立滝窪小学校四年一同



前橋市立宮城中学校生徒会



密蔵院 名取芳彦師様

健全育成 地道な貢献

個人部 志田洋遠さん (77) 前橋市

悩みに寄り添う相談継続 子ども主役の支援

TEL.027-283-6918

http://www.raijin.com/kongouji/

メールでの相談も受け付けいます。

子育て・女性健康相談センター

0276-37-5660

助産師による思春期の心と体の悩み相談 毎週月～土曜の午後1時～4時受付

青少年心の相談室 金剛寺

TEL.027-283-6918

http://www.raijin.com/kongouji/

メールでの相談も受け付けいます。

24時間子供 SOS ダイヤル (24時間対応)

0120-0-78310

いじめ問題やその他の子どものSOS

チャイルドライン

0120-997777

18歳までの子ども専用 毎週月～土曜日の午後4時～9時受付

いじめ一人でも悩まずに

心や体のことで悩んだり、学校でいじめられたりしていませんか？

あなたの気持ちを聞き、寄り添ってくれる人がいます。一人で悩まず、だれかに話してみませんか？

お釈迦様

大阪青少年教化協議会主催
第十四回「ほとけさまの絵コンクール」

最優秀賞 高橋愛月 (小5)



お釈迦さまが、お生まれになったのは今から約二千五百年ほど前のことです。
日本では四月八日にお誕生日のお祝いをします。
大阪青少年教化協議会では、毎年『お誕生日』を祝って、小学生の皆さんにお釈迦さまの「絵」を募集しております。
その作品の中で最優秀に選ばれた作品です。

令和二年 回忌一覧



- 一周忌 令和元年
- 三回忌 平成三十年
- 七回忌 平成二十六年
- 十三回忌 平成二十年
- 十七回忌 平成十六年
- 二十三回忌 平成十年
- 二十五回忌 平成八年
- 二十七回忌 平成六年
- 三十三回忌 昭和六十三年
- 三十七回忌 昭和五十九年
- 五十回忌 昭和四十六年
- 百回忌 大正十年

追善供養は毎年ご命日に行うのが本義です。
この一覧表は、一般的に行われている年回表を表したものです。



編集後記

令和二年三月新型コロナが、全国津々浦々まで感染するとは、誰もが想像しえなかった。しかし、現実には厳しい事実を国民全てが知る事になりました。群馬県に於いても一七七人の感染者 正に他人事ではありません。『自分の命は自ら守る』この意識高揚こそ、最もコロナ退散の鍵になるのではと考察するのですが。

さて、寺報「道」発刊以来おかげさまで、十五号を迎えました。多くの方々のご協力理解をいただきながらここまで辿り着きました。唯々感謝です。本号特別寄稿に「情野俊一師(東京都)」をお願い致しました。ご多忙の中にも関わらず「自己実現」と題して御執筆いただきました。日本人としてインド僧侶(小乗仏教)の実践者として、敬意を表します。「日本とスウエーデンのお葬式の違い」を「アンナヘッドバーグ」様から、投稿いただきました。正に「目から鱗」の感じで感動致しました。御執筆いただきました。お二人にこの場をかりて心中心より深謝致します。

又、「子供達が悩んでいます苦しんでいます」、親からの体罰・学校でのいじめは私達大人の問題です。日本の未来、将来を委ねる子供達を「地域社会で守る勇氣」を、全ての大人に声を掛けたい心境です。「いじめ一人でも悩まずに」を掲載させていただきました。当寺もホームページで(アクセス 五万四千六百七十六名)中に『メール相談』及び『青少年心の相談室』を開いております。少しの勇氣を持ってご相談下さい。

新型コロナ騒動で明るい話題が有りませんが、小生にとりましては慶びが有りました。何と上毛新聞社からお褒めの言葉をいただきました。第四十三回「上毛社会賞」の受賞決定の通知です。地道な活動に光を当てていただいた事に、深謝致すとともに多くの方々のご理解無くしてはこの慶びは有りません。唯々感謝です。末筆になりますが、皆様のご健康を伏してお祈りさせていただきます。(合掌)